

な か ま

発行
佐倉市立中央公民館
な か ま 編 集 係

〒285-0025
佐倉市 錦木町 198-3
電話 (043) 485-1801

2 ページ	天照大神に逢った日	岩壁 則次	プラス思考	佐藤 寛
3 ページ	市民カレッジ一年生修了の記	北村 耕三	アングルのヴァイオリン	村田 長保

耕さない田んぼ

亀川 勇

一 昨年「耕さない田んぼの会」が市内青菅の水田を借りてはじめた「不耕起栽培」による稲作実験に参加していません。

私は素人ですがユニークな稲作だと思つので紹介します。

「不耕起栽培」は香取市の岩澤信夫さんが提唱される稲作法で、昭和五十五年に東北地方を襲つた冷害を契機に、冷害に強い稲作りを、各地の農家と長年苦勞を重ね開発された。その方法は、岩澤さんの著書『不耕起でよみがえる』によると

一 低温で苗を成苗に育てる
種まきの時期を早めて外気の低温で5・5葉の成苗まで育てた苗で田植え(普通は2・5葉)。苗は低温で野生化した田植え後も冷害や病害に強くなる。

二 田を耕さない(不耕起)

耕さない土は固く、それで稲は太く根を張り丈夫に育つ。田植えは固い土に細い溝を切り植える特殊な田植え機を使う。

三 冬に水を張る(冬期湛水) 稲の切り株、秋に播いたわら屑や又力が冬も水中でゆっくり分解する。イトミミズが大量に発生しその糞が肥料になる。

サヤミドロという藻が厚く田を覆い、雑草の発生を抑え、ほとんど除草の必要がない。農薬を使わないからクモが棲息し稲の害虫を食べる。

水田の水は微生物などによって浄化されるが、冬も水を張ればほとんど一年中水を浄化しているという余得がある。簡単にお話するとこのような農法です。冷害対策を指すこの農法を、環境の点から採用する農家も増えていきます。

宮城県田尻町には蕪栗沼があるが、この周辺の水田で町ぐるみで不耕起栽培を始め田に水を張ったら、冬にマガンなどが飛来するようになり、昨年「沼と周辺の水田」としてラムサール条約に登録された。滋賀県では琵琶湖の汚濁防止に効果があるとして不耕起栽培に取り組む農家に、補助金を出すなど支援している。この活動は、NHKのドキュメンタリー番組で紹介されました。

印旛沼でも今年からある農家が、沼近くの一町歩の水田で冬に水を張り耕さない稲作をはじめられた。印旛沼の水質浄化に有効ではないかと、千葉県はボランティアと共同で、三月から毎月一回この水田と周辺の水質調査をしている。私たちの実験田は手植え、手刈です。二度の収穫はまずまずでした。水場を求めて野鳥がくる、ニホンアカガエルが産卵するなど、環境の変化を観察するのも楽しみです。

(編集委員)

天照大神に

逢った日

「伊勢に行きたや伊勢路が見たい、せめて一生に一度でも」と伊勢音頭に謡われているように、生涯に一度はお伊勢参りに行くものだと言われている神宮に参拝してきた。

当日のガイドさんの説明によると、伊勢神宮は単に「神宮」というのが正しい名称で皇大神宮（内宮）豊受大神宮（外宮）祭神は天照大神と豊受大神の御二方で、全国神社の最高の社と敬われている。また別宮や摂社末社を含めて一二五のお社からなっている。参拝は外宮からが順序、鳥居をくぐれば外宮では願い事は幾つしてもよろしいが内宮での願い事は一つだけという。参拝は二礼二拍手一礼だが礼の仕方は、神を敬う気持で静かに頭を下げながら、両手は徐々に膝の上までおろす。拍手は両手を合わせたから、左手の一節分右手を下げてから拍

手を打つ。最後の二礼にて願文を唱える。

昔の人達は一生に一度のお伊勢参りに遠い道を何日も歩いて済ませ、旅の記念にお伊勢さんの神札やお守りに、餅や赤飯を添えて親戚や隣近所、友人知人に配ったのがオミヤゲで漢字で「宮下」と書いた。時代も変わり温泉や景勝地にと旅も盛んになると人々は、その土地の特産品を買い求めて「土産」をお伊勢さんに做つて「ミヤゲ」と呼ぶようになったそうです。

また神前に供える海の幸干鯛、熨斗鮑、鯉節、鯛、昆布の中、熨斗鮑に做つたものが、現在進物や祝い物に使う熨斗紙のルーツだそうです。身震いするほど冷たい五十鈴川で身を清め、巨樹巨木の立ち並ぶ合間をぬけての参拝、境内は厳肅そのもので、神の姿を一瞬垣間見たような気がした。

（田町 岩壁 則次）

プラス思考

お釈迦様のお弟子さんに富楼那という人がいました。この人は雄弁家でしたが、燃えるような信仰心の持ち主でした。

ある時富楼那はお釈迦様に西の方にあるシユロナ国に布教に行きたいと願い出ました。そこでお釈迦様は聞きました。

「富楼那よ。あの国の人たちは心が粗暴だそうさ。きっとお前の悪口を言うだろう。その時はどうする」

「その時はこう思います。この国の人たちは賢くて柔和だ。なぜなら私を打たないから」

「もし打たれたらどうする」

「その時はこう思います。この国の人たちは賢くて柔和だ。なぜなら私を斬らないから」

「もし斬られたらどうする」

「その時はこう思います。この国の人たちは賢くて柔和だ。なぜなら私を殺さないから」

「もし殺そうとしたらどうす

る」その時はこう思います。この国の人たちは賢くて柔和だ。なぜなら私を、この辛い浮世の絆から解き放してくれるから」

お釈迦様は富楼那をほめて言いました。

「よろしい、富楼那。お前は修行を重ねて、耐え忍ぶことの大切さを学び取った。必ずあの国の人たちを導くことができるだろう。行くが良い」

こうして許しを受けた富楼那は、シユロナ国へ行つて僅か三か月の間に五百人の信者を得、たくさんのお寺を建てました。

どうです、すばらしいプラス思考ではありませんか。今は嫌なことばかり多い世の中ですが、こんな時こそプラス思考で乗り切っていきたいものです。

（表町 佐藤 寛）



市民カレッジ

一年生修了の記

友達一〇〇人出来るかな

一年一組。終戦の翌年に一
張羅の紺紺を着た母と桜吹雪
の入学式に出席してから五十
九年目の春、カレッジで使う
新品のノートやファイルに、
再び、「一年一組北村耕三」と
署名しつつ、母の笑顔と一緒
に溢れ出た夥しい数の思い出
に身を任せていた。波乱万丈
の一年はかくしてスタート。
班、そして競争心。カレッ
ジの日常的な運営は、五十音
順で編成された班が取り仕切
る。班が協働単位として重要
な組織であることを意識させ
るため、ウォークラリーで競
わせ班の成績を公表。こうし
ていつの間にか他班に対する
競争心と班内の協調性が醸成
されていくが、飲みニケーシ
ョンとカラオケーションもそ
の一助のようである。他班と
の合コンが盛んになり、スポ
ーツフェスティバル、文化祭

の準備段階あたりになると隣
組のことが気になってくる。
好敵手の存在は、やはり大き
な成長因子。

High Tension
AM九時、ホームルーム開始
まで三十分以上もある。しか
し教室内は男の子と女の子の
声が交差し、テンションは高
くなっている。週一回の登校
日が待ち遠しかったか、六十
年の人生でこれほど心を解放
し、やる気に満ち満ちた場は
なかったのか。そんな金曜日
の朝。

All for One、One for All
カレッジでは常に自立性と協
調性が求められる。そうした
既成の行動様式を超えて、自
己犠牲に立って組織の活性化
と高度化に献身、あるいは縁
の下から支える、一年一組に
はこうした人材を多く見出す
ことが出来る。自分作りから
仲間作り、そしていよいよま
ちづくりへ。

一年一組、いざ飛翔!

(中志津 北村 耕三)

アングルのヴァイオリン

マン・レイはダダとシュル
レアリスムを代表する画家で、
前衛写真の先駆者としても活
躍した。この写真ではアング
ルの裸婦の背中にながさな
手を加えるだけで、ヴァイオ
リンというまったく異質のも
のを連想させるのに成功して
いる。

一九二四年 パリ国立近代
美術館。

(以上 小学館『西洋美術
館』九九一頁・村山康男氏の
解説)

この解説だとマン・レイが
いかにもアングルの裸婦像か
ら全く突然ヴァイオリンを連
想して創り出したように取れ
るが、実はマン・レイは全く
違った視点から、この皮肉な
写真を仕上げたのである。

多くのフランス人はこの作
品を見てニヤリと笑った筈。
フランス人ならずともアング

ルに関心のある人なら アン
グルのヴァイオリン Violon
d'Ingres という言葉を知っ
ている。

アングルは父から音楽の手
ほどきも受け、特にヴァイオ
リンは玄人はだしであったと
いう。それゆえ、この言葉は
本職以外の「余技」を表わす
一般名詞として使われ、どん
な小さな仏和辞典にも載って
いる。

マン・レイの作品はこの慣
用句を文字どおり受け取り、
皮肉たっぷりに具現化したも
のである。Violon d'Ingres
という言葉の存在を知って初
めてこの作品の面白さ、アイ
ロニーが分かる。そうでなく
てはマン・レイも泛かばれな
い。

(新白井田 村田 長保)



7月の黒板

『なかま』原稿募集のお知らせ

『なかま』の2・3面は、市内の皆様の投稿によって作られています。原稿は随時募集しています。

[原稿規定] 字数 650字(13字×50行)以内。ワープロによる原稿(縦書き)でも結構です。

内容 随筆・・・日常の出来事、生活の中で発見したこと、気付いたこと、経験や感想などご自由にお書きください。

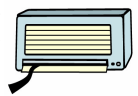
『なかま』に対するご意見・ご感想などもお待ちしております。

いただいた原稿は、掲載するにあたり常用漢字への変更や、句読点等修正させていただくことがあります。

問い合わせ 佐倉市立中央公民館 (第2・第4月曜日は休館日です)

URL <http://www.city.sakura.chiba.jp/kominkan/cyuou/index.htm>

そくら道



「夏型過敏性肺炎の対策」
まず、室内にカビをまき散らす原因として、エアコンが挙げられます。長期間未使用だったものを、清掃せずに、そのまま稼働させると、エアコン内部に潜むカビが、一気に室内に吹き出されて、その空気をいや応なく吸い込むこととなります。そのため、冷房やドライで稼働させる前に、

フィルターやカバー、内部の掃除を入念に行います。
カビ取り剤や消毒アルコールなどの薬液も、注意書きに従って、使用するとよいです。清掃後は、カラッと晴れた日の、できれば少し風があるような日中に、室内の窓を開け放ち、できるだけ時間を掛けて試運転し、カビ臭さが消える程度に乾燥させたいものです。

あがとき



発刊以来この十月で三十年を迎えることとなります。

その間数多くの先輩諸氏の熱意ある努力と、それを支えてくださった読者の皆さまのご協力と応援があった賜と厚く感謝申し上げます。

また平成九年度には栄誉ある「成人善行表彰」を受賞しました。これは善行活動の成果として、市町村および教育

委員会、関係諸官庁、各種団体等からの推薦に基づき、選考委員会の審査を経て、明るい住み良い社会をつくるために善行をしている個人・団体等に贈られたものです。

全国でも長期にわたり継続して発刊するのは稀であると思います。ボランティア活動の一環としてより良く明るい誌面づくりを目ざします。皆さまのご協力をお願いします。

(永見)